

団体名	特定非営利活動法人 夢ネット大船渡			
代表者名	役職名 氏名(ふりがな) いわききょうじ 理事長 岩城恭治			
所在地	〒022-0003 岩手県大船渡市盛町字内ノ目14-15 (団体専用・個人宅→ 様方)			
記入者名	役職名 氏名(ふりがな) いわききょうじ 理事長 岩城恭治			
記入者連絡先	TEL:0192-47-3271		FAX:0192-47-3271	
	携帯: 090-2278-9703(岩城)		メールアドレス:npoyumenet@bz01.plala.or.jp	
助成決定番号	7B-176			
活動名	被災者の雇用創設と内職応援・支援事業			
プログラム種別	1. 緊急救援活動	○	2. 生活支援活動	3. 復興支援活動 4. その他
助成決定額	206万円			
活動期間・日数	1. 活動期間 (2012年8月 1日~11月30日) 2. 活動日数 (122日)			
活動した人数	1. スタッフ (のべ 180人) 2. ボランティアリーダー (のべ 113人) 3. ボランティア (のべ 300人)			
協力・連携した団体や機関	1. 大船渡市災害ボランティアセンター 2. 大船渡アクションネットワーク 3. 認定 NPO 法人ジャパン・プラットフォーム 4. 大船渡市 地の森 2 区地域公民館 5. 大船渡市 中央通地域公民館		※災害ボランティアセンターとの協力・連携が無い場合は 1 は記入なし ※災害ボランティアセンター以外の協力・連携団体がある場合は 2~5 に記入	
活動した場所や拠点	1. 岩手県 大船渡市盛町字内ノ目 14-15 NPO 法人夢ネット大船渡 2. 岩手県 大船渡市大船渡町字新田 45-11 中央通地域公民館 3. 岩手県 大船渡市盛町字東町裏 16 三陸鉄道盛駅ふれあい待合室 (都道府県名・市区町村名・地区名・拠点名等が分かるよう、具体的に記入してください)			
活動の対象者	1. 東日本大震災 被災者 (内職希望者) 及び被災地の手芸希望者 2. 被災し並びに職を失って、起業を志す方々 3. 地の森 2 区・中央通地域の被災者			

【記入上の注意・お願い】

- この報告書に記載された内容は寄付者や関心のある方などに対して広く公表します。個人名または個人が明らかに特定される内容は記入しないでください。(記入者の連絡先は公開しません)
- 活動のことを初めて知る人が読んでもわかるように、なるべく専門用語を使わず、イメージのわくような報告をお願いします。写真なども有効に活用ください。(写真は公開の許可がとれたもののみ送付ください)

活動した内容	<p>■「身の丈起業塾」並びに「女性のための身の丈起業塾」 5回開催予定の講座を6回開催した ①9月3日～4日午後 女性のための身の丈起業塾 3日6名、4日5名 ②9月3日～4日夜間 身の丈起業塾 3日9名、4日8名 ③9月11日 内閣府が募集している起業者へ210万円上限補助申請書書き指導講座 ④10月24日午後 女性のための身の丈起業塾 24日1名 25日申込ゼロ ⑤10月24日～25日夜間 身の丈起業塾 24日3名、25日4名 ⑥11月19日午後 ふいしゃーマンズワークの勉強会を開く 4名 20日 起業者の個別相談 9名が相談を受けた</p> <p>■手芸内職支援 ①手芸内職者支援と生きがい支援として手芸講座を 22回開催し、251人が受講した。 ②地域内のイベント販売では13回の出店により303,100円を売った。 ③手芸プロジェクトを結成し、出品者による展示即売実行委員会を結成した ④出品者の集まりを開き、今後の販売促進を協議中である。 ⑤手芸品カタログを作成した。</p> <p>■コミュニティ再生事業 ①地の森2区地域公民館、中央通地域公民館の2ヶ所の旧住民の移転先等を調査した。 ②住民集会を各2回、大船渡市の担当者の出席を得て開催した。 ③地の森中央通復興委員会を立ち上げた。 ④地域づくりの講演会を開催出来た。 (活動の内容がわかる写真がありましたら、データをメールで送ってください) (なるべく、活動現場でボラサポのマークと一緒に写した写真を1枚は送ってください)</p> <p>活動内容を掲載したウェブ (http://www.geocities.jp/npoymenet/NPO.html)</p>
活動の成果	<p>■「身の丈起業塾」並びに「女性のための身の丈起業塾」 ①以上の講座を受けた方で起業した人は起業資金助成を受けた方が3名ありました。 アワビ養殖・加工、中国語教室、フリーマーケットの業種 ②起業者の個別相談者の迷いも払拭し、次のステップへ向けて進み出しました。</p> <p>■手芸内職支援 ①手芸品内職希望者へ「手作り気仙椿」づくりを指導し、28名の内職登録者が出来た。 ②アクリルたわし等の手芸品づくり出品者が22名登録した。 ③地域内のイベント販売で303,100円を売り上げ、出品者へお渡しできた。 ④作成した手芸品カタログを使い今後の販売へつなげる。</p> <p>■コミュニティ再生事業 ①分散している住民の集まりが出来、色々の話し合いが出来た。 ②両地域合同の復興委員会を結成できた。 ③今後とも復興委員会の協議を進め、住民要望実現へ取り組む組織が出来た。 (活動を通じて気付いたこと・感じたこと・活動の成果・活動上の課題等を記入してください)</p>
寄付者へのメッセージ	<p>全国の支援者の皆さん！ 被災から1年9ヶ月が過ぎ、仮設住宅の生活が長くなり、狭い住宅事情や所得減など、精神的に悩みが多くなって来ています。こうした時期に、分散している旧住民が集まって、今後の暮らしの計画などを話し合いが出来て感謝されました。</p> <p>さらに、起業したいという人への生業支援、さらにはお母さん方の内職支援として、手芸品講習会の開催と販売支援によって、被災者へ内職代金を支払うことが出来、感謝されています。</p> <p>これもひとえに、中央共同募金会へご寄付頂きました皆様のお蔭であります。心から感謝申し上げご報告いたします。</p>

